

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
1	①住宅団地はもう50年ぐらい前、研究学園都市の工事と一緒にできて50年ぐらい経っております。そうするとどうなったかというボロボロなんです。ですから何か華々しいすごい計画いっぱい出てきましたけど、ボロボロな地域を、ぜひちょっと見ていただきたいと思います。例えば、住宅団地に調整池があるんですが、団地内の池ですから、個人の家の池みたいな小さな池じゃなくてすごい大きな池なんですけど、団地内の、泥だらけの側溝も雨水もみんな流れ込んで、それでいっぺんに流れていかないうに、小貝川に流れていきます。いっぱい流れないように調整するって意味で調整池って名前なんでしょうけど。その内側の壁ブロック積んでる壁が池の中に倒れそうになっております。倒れるとおそらく小貝川に流れていくんだろうと。なぜ倒れそうかと言いますと、池の内側の壁と、その外側は普通の地面ですから、その地面と壁の間が隙間が空いていて、その間に木が生えてきて、50年もたてば木が生えてきますよね。それで壁との土の間は、割れ目がどんどんできるようになって、割れ目ができるとそこにまた木の種が落ちて、別の木がどんどん増えていく。もう少し時間がたてば、おそらく内側の壁が池にぼったりと倒れるのではないかというふうな状況なんです。至急の手としてはこの木を切っちゃえばいい、だけど池とその横が道路、つくば市の市道、池は住宅団地をつくったおそらく会社のということで、だれが木を切るのか、手を出すのは難しいなあと思うんですが、それで思うのは、住宅団地造るにあたっておそらく一番最初に、どれぐらい時間がたったら、作った会社から市に、そういう道路とか、調整池みたいな土木施設みたいなもの、引き渡すということになってると思うんです。そういう契約っていいですか、この文書残ってると思うんです。そういうものに基づいた形の住宅の調整池なら、公園用地もあるんですけれども、市にまだ移管されてないので、いつになったらつくば市に移るのかということなんですけれども。 ②道路に半分引っかかっているような木がたくさんあるけれども、道路の所有者が切ってもいいんじゃないかと思うんですが。	①私も新白水団地もちろん何度も行っています。どういう状況になってるかというのを把握しておりますし、例えば空き家で非常に厳しい状況にあったところをどうするかって話もしていますし、今お話をいただいたいいわゆる開発がされたときに、市でなかった部分についての取り扱いというのは、全市的な課題になっているのは、おっしゃる通りなんです。例えば、自治会が管理をしていることになってるんだけど、自治会で管理しきれないから、市で何とかしてくれというお話をいただいたりすることもありますし、その調整池は、おそらく当時の開発事業者の所有として登記をされているんだと思いますが、やはり危険なものは何とかしなくちゃいけないと思う一方で、結構いろんな団地で、そういう状況になってるものは、すでに、例えば自治会の負担で撤去していただいているようなところもあったりするので、その辺が行政として非常に悩ましいというところをもっているんですね。茎崎地区にもすごたくさん、水道関係の施設なんかが残ってしまってる区画があるんですが、今は使われてないんですけれども、これを団地の負担金で撤去してくれたところもあれば、まだなかなかそれが負担しきれなくてそのままになっているところもあって、そういう状況の中で、今、市の基準としては、その底地がどうなってるかと、当然その調整地の隣には市の土地もあるんですけれども、市の土地はいうまでもなく管理をきちんとするんですが、民地となっている部分についての取り扱いは、正直なところ悩ましいという中でもいろいろ協議をして、法的に何が可能で、かつ、市民の安全を担保できるかというあたりが、いまだに解決策が見つかってないんですね。ただこれを行政でやりますと言っちゃえば簡単なんですけれども、そうすると、じゃあ今まで自治会で負担してた皆さんから、ないとは思いますが、例えば、おかしいじゃないかという話に、うちのも遡って出せっていう話になった時とかに、どう整理できるだろうかなんていうことがあったりしてですね。今のまま、じゃあどんどん荒れていくのを放っておいていいのかというと、それも私はよくないと思っていて、新白水に限らずの話なんですけれども、今、要協議という感じで話を継続してやっているとこでございまして、今日、市で切りますっていうことが言えなくて申し訳ないんですけれども、課題としてはよく認識をしていますので、今のところもちろん市が触れないというのが公式な見解なんですけれども、頭を悩ませながら、継続して協議をしていきます。ご了承いただければと。 ②道路の通行上支障があつて、地主がちゃんと対応してくれない部分に関しては、安全上であれば、やれる範囲は当然あると思います。

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
	③法律のことを言うと、法律的には何もできないんだろうなと私も思います。あんまりやってもらっても困る。市の税金で。一番最初に団地を作るという時に、作るという計画が持ち上がったときに、きちんとした話をしておくということを一番最初にきちんとしてもらいたい。	③そうですね。おっしゃる通り、今はきちんといろんなものがされてますけど、50年前の合併前の町村時代のものがなかなかやっぱり保存されてなかったり、曖昧なところがあったりというのはあるのかなあとはちょっと思います。今はきちんといろんなものは公的に整っていると思いますが、すみません。

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
2	①住宅団地からつくば市の市道に出る道路が2本ありまして、1本は4メートルくらいある、少し広めの道路ですが、あと1本は2メートルくらいしかない。幅2メートルですから、軽自動車も全然すれ違いができません。100メートルありますから、両側から入ってくると慌ててどっちかがバックして、外に出なきゃならんとかそういう危険だったんですけども。それが10年ほど前に、その道路の道幅を広げるということが決まったんです。広い土地を所有する会社が太陽光発電所を作ったんです。その近くに太陽光発電所を作ったんですけど、それでその予定地の中に、つくば市の市道が入っている。そのつくば市の市道も別の住宅団地のやはりその道の拡幅とつけかえる。市道を付け替えるということで、それでうちの団地の細い道路が広がるということで喜んだんですけど、住民投票をやりまして、いろんなところに付け替えができるか住民投票をして決まった。ところがそれは10年前です。5年か4年前に私、自治会長になったときに、道路なんか課の人と、付け替えると言っていたところが、どうしてできないのかねと。太陽光発電所の付け替えが決まった時にはすぐにできたから、5年前にできて、もう今5年経っている。付け替えるはずのところできていないんですけど、いや、再来年にはやりますというが、再来年というのは去年。それだけでも随分経っているので、本当にやるのかと言ったら、絶対やりますと言っていた。若い元気のいい人。それが5年前で、まだできていない。我々もだんだん腹が立ってきますから、どうなっているのか確認をお願いしたい。 ②時間がかかりそうですか。	●市長 ①ちょっと週明け確認をして、普段あんまり踏み込まない市役所の職員が、そこまでやりますって言ったら、多分なんか、ちゃんとやる計画ができているはずなので、今の話聞くとやることになっているでしょうし、さっきも言いましたけど、安全面でリスクがあるところというのは、その優先順位としては当然ありますので、ちょっと確認をしてまたご連絡を差し上げるようにします。 ②そうですね、ちょっと何があったのかわかりません。付け替える約束をしたのなら、やっぱやらないといけませんし、100メートルであれば、もうあるんですよ、余地が。 ●鈴木県議会議員 やる方向でと、私は市の方から聞いて、私も言っていたんですが、多分、変電施設がありますよね、あそこの集落の住居に近いところに。あの辺の対応で少し滞っているのかなあという情報としては伺っていたので、であれば、それに移設の費用がかかるのであれば、芝生側に逃げるという手も策、その最後のね。その手前の南側が太陽光施設のところまでは広がっていて、そこから狭くなっているんで、そこまで手前までは、金網をセットバックをしていくんですけども、少し斜めに切れてしまうかもしれないんですが、芝生側に逃げるという東側という手もあるのかなと思いますので、そ

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
	③フェンスで区画が作ってある。途中まで進んでいる。	のへんはぜひご協議いただければと思います。 ●市長 ③もし、従来どおり止まっているのであれば、担当と今アドバイスいただいたものを踏まえて、どういうことができるか考えていきたいと思います。
3	①支線型バスの運行、10月から開始するという話でしたが、3年間だったと思うんですが四つのコースで試験をなさって、その結果は公表されてるのでしょうか。 ②実際、その本格運行のコースはまだ決まってない？ ③他のルートはもう実施することもないのか。 ④利用者がいなければ、やらなくてもいいと思う。ただ実験をやる時、スタートする前の説明会の時もですね、私、3回ぐらい説明会で話聞いたんですけど。本当に何か、通勤に使うとか、通学に使うとか、そういう人の時間帯にはバスを出してなかったんですよ。だからそういうことで本当に市として実験になるのかなということは、そのときにも言ったんですけども、そういうこともちょっとありますので、そんなに利用者が少ないのかなという気はちょっとしますが、ちょっと私もデータを見たい。	①はい。それは、説明会もやらせていただいて、公表してます。ホームページに出てますね。 ②本格運行コースは決まりましたね。その4ルートのうちの一番乗られた、いわゆる3番目のルートの筑波山とかに繋がるようなルートが、本格運行という形でそこも少しルートを変えて、今までなかったところが通りながらですね、やっていくということになりました。 ③極めて少なかったんですよ。はい。本当に、ここまで少ないかというぐらい少なかったというのが、私の正直なところ。コロナとタイミングが重なっていましたが、それがなくても、やっぱり厳しい。 ④ぜひ、ホームページに出ています。やりましたというもので結果までは出ていない。別にこれ隠しているもんじゃありませんので、何らかの方法で共有します。(他の参加者から:市議会だよりの8ページに載っている。)確認してお届けします。お届けかお渡しか地区相談センターか何らかの形で。

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
4	①泉というところは桜川のすぐそばで昔から水害には悩まされてきたところ。今回の話は、排水樋管っていうのは御存じだと思うんですけど、桜川の農業用水とか、雨水とか、そういった排水について桜川に流すという施設です。その施設がなぜ問題かという、管理者がいないと。前回の台風19号ですか、2年ぐらい前ありましたが、そこから逆流を起こすんですよ。その管理者がいない。それと、開放状態で、おまけに樋管が故障してる。ですから、そこに写真で今(写真提供あり)出口側の写真があると思うんですけど、それだいたい25年目なんです。ですから、秒速2メートル流速だと40トン？水が溢れてきたんですよ、川が増水するだけで。泉地区ってのは国道125号の国道から南がちょっと入るんで、中には家屋の高さが国道より低い家がある。ですから水害に非常に敏感な地域なんですよ。開放状態ですから誰がこんな状況だと、これ市でもやってると思うんですけども、その辺がちょっとわからないんで、ちょっと市でわかる範囲で結構ですから、管理状態がどのようになっているのかと、壊れた排水樋管等はどうすればいいのか。 ②もうすぐ出水期ですから、これ2年前から進めてる作業だと思うんです。ですから、壊れた状態によって必ずね。45トンの水量が上がってくるわけですから、当然家屋の被害とか、農作物被害とか出てくるわけですから、至急対応をお願いします。	●市長 ①はい。そもそも管理者がだれかという、いないということですよね。いないというのはよくないですよ。 ●鈴木県議会議員 おっしゃるように前回の台風の際に、各箇所、泉もそうですし、田中地区も含めて、何ヶ所かで樋門樋管の管理が行き届かず、ご迷惑をかけた地区もありまして、その際に改めて管理をされている方をしっかりと把握して、されている場合には適切な管理をしてもらうということで、その残ったところはまだ不在の不明のところもありますので、その辺はきちんと市と土木事務所、桜川の管理しているのは土浦土木事務所ですので、そこで協議して今後どういうふうに、特に有事の際、こういった形で、一義的に誰が管理するのかっていうのを、今調整はしているところです。少し時間かかってしまうんですが。 ●市長 ②本当にまさにどう管理するか議会でもご質問いただいています。行政内でも、まさに鈴木県議がおっしゃったように、どう管理するということ、いきなり市でっていうことでもないんですけども、今協議状況どうなってるかを改めて、また週明け確認をします。今回間に合うかわかりませんが、できるだけ早く方向性を出せるように、県議ともよく相談したいと思います。

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
5	秀峰筑波義務教育学校では、雨の降った日なんかが、学校側の道路が水が溜まっちゃうんですね。国道がある、そこを小学生と中学生が歩く国道なんですけど、水はけが非常に悪い。そのところのこの部分に対して水のはけをよくしてもらいたいと、そうすれば、小学生中学生交差してますから、非常にそこ中学生が入って通って危ないと。この辺のところ、県の仕事なのか、誰の管理なのかわかんないですけど、その辺は、行政のはざまです。国道側の(写真提供あり)そこ水たまりができちゃうんですね。水路もそばにあるんでそこに流すような施設を作って欲しいと。あともう一つ国道のところですねふれあいのところ、ここもそうなんですけども、県の管理、国道2級ですから県の管理だと思うんですけども、そのところの排水が非常に悪いと。学校の周辺なんです子供たちが非常に時間によっては混むんで危ない、そういうところをぜひお願いしたい。あと植栽、木が生えてるんで、視界空間も非常に危ないと。で、その自宅の人がすぐ刈ってくれるような人ならいいんですけど、なかなかそうもいかない。	●市長 市道については、ちゃんと確認をして、どういう対策が可能かは考えます。 ●鈴木県議会議員 実は、ここ1回対応はしているんです。歩道を1回掘りまして、そこに碎石を入れて、いわゆる浸透するようになっていうことでやった。経緯としては、その流末を確保できなかった層がありまして、今、その周辺の田んぼも含めたところで、協議を行って、流させていただければということも行ったんですが今のところそこはちょっと成立していないんですね。その先に側溝ますもあるので、そこにつなげられればいいと思っております。3年前にその浸透式のものを設置したんですよ。やはり思うような、多少効果はあったと思うんですけど、ですのでちょっと再度検討して新たな整備できればと思います。

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
6	①つくば市内結構広い地域になってまして、市内の地域格差、これは行政サービスだとか、教育で、それをものすごく感じるところがございます。見た目言えば、国道や市道の道路状況一つとっても、中心部、もしくは今開発が進んでいるエリアとこのあたり、あとは公園の整備にしても、以前作った公園がそのまま維持管理されない、草刈もされないような状況のところ、ただ、今スーパーシティでやってるエリアっていうのは、やはり綺麗に整備をされている。ちょっと僕も見ると、必要以上な感じで整備されてるんじゃないかと思うようなところがあるような気がします。行政サービスは、住民に平たく提供されるべきだと思うんですけども、ただその地域性であるとか、そういうものをかんがみて、今の開発が進んでるという理解をするんですが、ただ、取り残されてしまう地域についてですかね、どのようにお考えなのかというところと、あとは、そういう政策を進めるにあたってベースになるのがやっぱり税収だと思うので、どうしてもTX関連というのが多分今後大きなインフラ工事になって今周辺市町村でも議論になってると思うんですが、そういうものを活用していただければなと思っております。あと行政改革の部分でいうと、筑波万博をやっていた当時、東大通りや西大通り道路の整備をした時の都市計画というのは非常にすぐれたものだと思うんですが、つくばエクスプレスが来てからの行政の都市計画というのが、どうもその人口流入を抑制するような政策が目立つことが一つと、あとその道路ですね今、無駄に渋滞が起こるような道路が多いような気がします。これからその上にスーパーシティ、サイエンスシティ構想をのけるにあたって、都市計画はちょっと、弱いような気がしましたので、その辺りはというところ、あと最後に、申し訳ありませんけど教育のところなんですけども、限られた人数でやられてるのもよくわかるんですが、特にこの隣にある秀峰。これは何個も学校が合併してきた大きな学校でして、やはりその通学にバスを利用したりとかっていうことがあります。今回コロナの問題があったんですけども、この地域やっぱり高齢の方も多くて同居してるような家族が多い中で、コロナで学級閉鎖をしました、クラス閉鎖しましたっていうのは何回か連絡があったんですけども、これに関して、情報の隠蔽だとか、緘口令というのが非常に目立って、情報をなかなか提供していただけない。もちろん個人情報を要求するわけではないんですけども、ある程度自己防衛をするに当たって、必要な情報の公開というのをやっていただきたいなと思っております。	①まず1点目の格差という部分では、直接的なお答えをすると、スーパーシティをやっているのは、まさにその格差をなくしていくために私はやるものだと思っているんですね。ですので、先ほどの交通事情のお話で、話しましたがまさにそれは中心部の話ではなくて、中心の人は公共交通はなんとかなってるし、車も普通に動いてますので、むしろ周辺市街地周辺地区に住む皆さんの困りごとを解決するために、まずモデルエリアからやっていくという試みなんですね。そのモデルエリアというのも、先ほど申し上げたように、真ん中でも作ってますけれども、筑波地区でいうと、小田地区で一つまずそこでやってみて、どういう課題が出るとか、どういうことが本当に必要とされて、その小田の取り組み、こういうことだったら、周りにこんなことができるかなっていうことを、検証していきたいと思っているので、そこは必ず、今は一気に全部進められないので、なぜあそこだけっていうふうになったりもすると思うんですけども、長い目で2030年をつくば市目標にしていますけれども、そこではそういう問題を解消したいと思いますし、つくば市がそういうものを進める上での原則を作って、倫理原則を作っていくって、その中でもとにかく格差は、そういう技術によって縮めていくんだと。広がるんじゃない、格差を縮めるために新しい技術を使う取り組みをしようということ、を、明確に掲げてます。実際には、何か真ん中ばかりっていうふうにお感じになる、事実的にそうなってしまってると思うんですが、そこは何とかしていきたいと思っています。それから、道路に関しても確かに特に街中の方では、渋滞が非常に大きくなってきていまして、当時の都市計画がやっぱり、ちょっと計算違いだったものがあったりして、例えば、研究学園は今頃の時間は本当に大渋滞で車動かないんですけども、本来はお店が立ち並ぶようなことを想定していなかった道路の両側にお店がずらっと並んだことによって、完全に詰まっちゃったと。それを、今つくば市でも、その都市計画関係の道路を扱う部署で、どうやったら逃せるかっていうのを描き直してるんですが、まず緊急的にでも流れを良くするような取り組みをしないと、本当にまちとして、このままでは非常に良くないだろうということを考えていますので、そこがおっしゃる通り都市計画として想定が外れてしまったところがあるというのは事実だと思いますので、何とか改善したいと思います。教育の部分についても、コロナに関しては、隠蔽をするということは基本にはないんですけども、ただ情報、やっぱり個人が特定されたりすることによって、実際にいろんなことが起きてしまったので、これはやっぱり、つくばでも多少、差別的な動きとかですね、或いは医療従事者が苦しんだ状況というのがありましたので、起きた事実は何も隠しませんけれども、人数とかも開示しますけれども、どこの学校の誰とか、そういうことに繋がるような情報は、極力注意しますし、学校から保護者に連絡する際も、ク

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
	②一般的な学校であれば理解できるんですが、秀峰の場合は、1年生から6年生まで、バスで通学する関係があつて、おそらく市内の小学校でも、インフルエンザの感染症だとか、そういったものが非常に高い数値が出るエリアなんですよ。だから、どこか特定のクラスが学級閉鎖つていう情報は、やはり、個人を特定する意味は当然ないんですけども、教えていただかない限りは、バスを利用してる小学生たちにとっては、誰が濃厚接触者に当たるのかという判断は当然できない、自己防衛が全くできない状況なので、当然その個人名を特定できるような情報を要求する気はないんですけども、何年生の何組だったってことだけがわかれば、じゃあ自分の乗ってるバスは大丈夫だとか、そういうのが判断ができる基準が最低限欲しいなと。	ラスとかそういうことは一切公表はしないで、ただ、学級閉鎖になったクラスの方には個別に、そのクラスに連絡をするという形はとりましたが、おそらくそれ以上やると、どこの誰がコロナになったかなんて、特に初期ですね、今はもうみんななってますからいやーコロナなっちゃったということも言えると思いますが、やっぱり1年前とか1年半前を思い出していただくと、相当その情報については、かなり取り扱いで慎重にしないといけない社会情勢がありましたので、そこは我々一切隠蔽とか何か不都合なものを隠すということではなくて、個人を守るための情報提供の仕方をさせていただくということは、これはご理解をいただければありがたいと思います。 ②結局、濃厚接触であつたりつてというのはその時々基準によってももちろん変わるんですけども、その時々で指針通りに、このクラスは休んでくださいとか、このクラスのこの子は行かないでくださいということについては、逆に言えばきちんとやっていましたので、むしろそういう情報を皆さんにお伝えをもっとすべきだったんだろうなと。要するに、例えばバスに乗ってる子の中には、濃厚接触の子どもたちはいませんよとかですね、濃厚接触のクラスの子はしっかりやってるから安心してくださいとか、そういうメッセージのコミュニケーションが必要だったんだということは、お話を伺いながら感じましたので、今後、コロナになることがないことを願いますけれども、改めて学校等にお話をしてみたいと思います。

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
7	ふれあいの里という、先ほど画面(冒頭のプレゼン)の方でも表示になったんですが、ここにキャンプ場を将来作りたいというお話でした。私が地元で、毎朝散歩をしてまして、ふれあいの里を回って自宅に戻るというコースが大体決まってるんですが、ふれあい里の管理棟、事務室があったり、二階に宿泊施設があるんですが、私の記憶によりますと、ここ4年5年と、宿泊客がほとんどゼロじゃないかなと。カーテンは閉まってる、障子はしまってるってということで、まず、そちらの方を宿泊客を誘致するのが、キャンプ場よりは先ではないかと、そういうふうな思いでおります。 もう1点は、ふれあいの里の入口があるんですけども、6丁目の石の鳥居から、ふれあいの里の入口のところに、ちょうど大きいカーブがありまして、その6メートル道路なんですけど、その6メートル道路の半分に、境界杭が打ってある。ですから有効に使えるのは3mくらいと。なぜそういうふうな今までは6mでグーっときていたんですが、なぜそういうふうな境界杭が打ってあるのか。非常にもう私の方も、散歩の途中に見ながら思うんですが、ちょっとおかしいんじゃないかと。どういう経緯でそういうような境界杭を打っていいという風になっているか、ちょっとご説明いただければ。	まず、ふれあいの里の宿泊は、4、5年宿泊客いないということはないんじゃないかと思いますけれども、比較的まあまあ使われていたんじゃないかなと、コロナではもう本当に使えなくなっていますので、そういうところだと思ってます。もともとキャンプ場が今あるんですけども、このキャンプ場の区画というのがなかなか使いづらいもので、区画の切り方とかがすごい狭かったりとか、そういう条件がいろいろありましたので、それを少し改善をしていって、より使い勝手のいいものにしていかなくちゃいけないだろうということなんです。今おっしゃられた宿泊施設自体も、このキャンプ場自体が年間で4,000万円ぐらいの赤字になっていまして、やはりもっと使いやすいものにして人を呼び込んでいかなくちゃいけないだろうと思ってます。そういう中で、その宿泊棟の方をどんなふうにもっとしていけば魅力的にしていくかというのは、併せて考えなくちゃいけないなというふうに思っております。もともとあるキャンプ場ですので、あまり地元の皆さんにご迷惑をおかけするようなものではなくて、いい形のリニューアルをしていきたいと、少し時間をかけて、というふうに思っています。 境界杭については、結構ふれあいの里の土地自体がそうなんですけれども、まあまあ入り組んでいるところでして、当時市役所が把握してる登記の情報と実際が違ったりというようなことが結構あるようで、このリニューアルも実は頭痛いんですけども、その道路の状況もおそらく、何らかの登記上の問題が起きてるのかなと思います。ちょっと週明けに対応を考えてちゃんと方向性を、ご連絡できるようにしたいと思います。

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
8	私のところは山沿いにありますので、狭い道が多く、未整備のところもたくさんございます。しかし、なかなか思うようには進まないと苦慮しております。現場の担当者は頑張ってくださいますが、予算の制約ともろもろあるのかなあと考えてるんですが、ただ一つこんなことがございました。砂利道の舗装をお願いしたんですが、4メートル未満は制度上できません。いうことで叶いませんでした。ただ現場の状況は、そんな高規格の道路じゃなくても、現況で簡易舗装していただくだけで、十分もう対応できる部分なんです。とにかくその市の一律の規格じゃなくて、地域の実情や、その現場の状況に合わせた柔軟な措置がとれないのか、とっていただくように要望いたします。	非常に大事な視点だと思っていまして、確かに舗装できる道路できないと道路って決まってるんですけども、一方ですべてを絶対にそれでやるというのも、逆におかしなことだと私は思っていて、本当に例外的に、例えば、車椅子を使っている方が、今の砂利道では非常に不便を感じていたり、安全上のリスクがあるようなケースというのは、やっぱり基準には満たなくても、安全性の問題があるところは、暫定的に簡易舗装するようなケースっていうのもあるんですね。ですので、今の皆さんの利用状況であつたりとか、そこの実際使ってる方たちがどういうふうに困ってるというのを、よく改めて聞かせていただいて、ちょっと今できるとは断定できないですね。市内には、一般的に舗装されてない道はものすごいありますので、これを始まっちゃうと、さっきの話のように、「じゃあうちも、うちも」って全部やってくっていくのは不可能なんですね。ただ、その地域の皆さんが困っていたり、移動がそれによって全くできなくなってしまっている状況とか、そういうことがあればと思いますので、これは地区相談センターにはご相談は行っていますか。(発言者:担当課の方に。)道路担当課の方ですね。ちょっと確認をして、改めて危険度というか、必要度をよく全体を見ながら、と思っておりますので、絶対に一律という決め方をしてしまうと、かえってよくないと思っておりますが、原則を守りながらどういうことができるか、一度また週明け確認していきたい。もうきつと担当課は場所はわかってるんですよ。(発言者:はい。わかっています。担当課の方で原則だめですよ。それなりには対応していただいています。)できるだけ、何らかの対応はしたいなと思っています。それは担当課の思いも同じなんですけど、なかなかその辺りは難しく、財源が無尽蔵にあればいいんですけど、ちょっとそういう状況でもないんで。まず確認してみます。

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
9	実は私は12月につくばに引っ越してきたところでして、コロナ渦でテレワークができるということで、こういうちょっと都心から離れたところで、つくば市というところがどういうところなのかと、あと市長さんがどんな方がいるのかという、実はたまたまつくスマをインストールをして、こういうのがあるというのを知って、参加をしているんですけども、引っ越してくる途中で災害っていうものに見舞われるのはあまり経験したくないっていうのもあって、災害っていうところへの取り組みと、施設とかインフラが結構50年40年経ってくるともう耐久年数に来ていて、こういう手を入れないと何かを起きた時にそこから何か起きてしまうっていうようなこともあると思っていまして、そういった取り組みっていうのはどのように進められていらっしゃるって、どういうふうにやっていらっしゃるのかというお考え等も含めてお聞きできればと思うんですけども。	本当につくばを選んでいただけてありがたいですし、せっかく来てくださった方が、安心して過ごせるよう頑張っていきたいと思えます。まず、防災という大きな災害の目線で見ると、これは完全にハザードマップを作っていまして、例えば、このエリアでいうとやっぱり桜川というのは、台風19号先ほど話もありましたけれども、もう本当にあと10センチぐらいで決壊をするような状況まできていて、それを消防団の皆さんなどが一生懸命、守ってくださった状況があったりしますし、土砂災害警戒区域等で、やはり今市民の皆さんにお願いしてるのは、ハザードマップをできるだけ見ていただきたいということで、全国自治体のいろんな氾濫情報がありますけども、ほぼすべて、ハザードマップぴったりなんですね。ですので、普段はあんまり見なくても、実際はもう災害時にリスクがあるということは明確ですので、そういうものをよく見ていただくということ。そして、特にこの筑波地区では、地区の皆さんに、防災の時の行動の計画というのをそれぞれ立てていただいて、いざという時にはじゃあどこにどういうふうに動いていこうなどというのも作っています。そういう、ある意味で、自助の取り組みを最初に備えいただいて、その上で、行政としてやるべきこともやっていくというのが大きな枠組みなんだろうと思っております。台風19号の時も、私もとにかく1人の死者も出さないということを目指していろいろやって、幸いして、大きなケガ人もなくですね、市民皆さんやっぱり避難協力してくださいましたし、私も桜川、まさに今日いらっしゃる3議員と一緒に地域を見たり、そこで避難所で「まだ家にもどらないで」ということをやってたんですけども、非常に重要な視点だと思ってますし、防災情報等も、つくスマアプリ等、これから充実させていきたいと思っております。その上で、施設については、これは行政側の絶対的な責任ですので、耐震基準満たしてないような施設については、いわゆる旧耐震基準ですね、昭和56年以前作られたものについては、学校等ではもう基本全部工事は終わっています。ただ、公共施設も、そういう耐震基準を満たしてないところは工事をしてるんですが、老朽化自体は、おっしゃる通り、40年経てるようなところが数多くありますので、順次更新をしていく計画を考えてます。倒壊の危険性があるというよりはやっぱり、あまり大規模な損傷をしてから大規模な修繕をしなくちゃいけないとなると、非常にコストがかかってしまいますので、予防保全という考え方で、計画的に、例えばこういう施設もどういうふうにしていくかということのを個別に作っていくんですが、これが、施設とか道路とか、上下水道とかを合わせて、今後非常に市としても財政的に苦しくなるなど。で1回概算で試算したんですが、再度最近少し精緻な計算をしたら、今後40年間で、市の今お話があったような建物とか道路とか水道とかを含めると、今後40年間で9,900億円コストがかかるということが、一番新しい数字で、この間その数字を見てちょっ

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
		と私も、前は8,400億円だったんですけど、それぐらいかかってきますので、ただそれがどんどん手を入れていかないと、例えばそれこそ万が一建物がぐしゃってなっちゃったりしたら、これは人的な被害とんでもないですので、そこは計画的に対応していかなくちゃいけないと思っていますし、やっていくと。ただ、今例えばここで大きな地震が来ても、それによってぐしゃっとなってしまうような場所というのは、基本的にないと思っていただいて大丈夫ですので、そこはご安心いただければと思います。

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
10	私個人的な趣味で筑波山によく上がるんですけども、非常に土日祭日等については、車もそうですけど、筑波山、TXがつくば駅からバスで大勢来られる方がいるんですけど、先週、女体山のところまで上がったんですけど、そのときに、埼玉から来てた30代の男性の方がいまして、今日のルートを知ったら、水戸線の岩瀬駅で降りて、重装で加波山経由して、筑波山に来たと、10数時間かかるんですね。私個人的には表の筑波山から、あまり上がることが少ないんです。個人的には非常に好きなつくし湖の方から、それから、キャンプ場。これはつくば市じゃなくて隣の桜川市になりますが、筑波山という一つの観光資源のやっぱり一つのくくりとして見た場合には、筑波山神社周辺だけではなくてですね、桜川市のつくし湖から、薬師様のところから上がって、登るルートと。それから、石岡、土浦ですかね。向こう側のルートあると思うんですが、小町山が通称ですね、小田山ももちろんありますが、筑波山を一つの山として観光資源として考えた場合に、首都圏、或いは、千葉あたり、栃木方面から来た場合に、筑波山の頂上を目指すのは、表側の筑波山から神社の方から上がるルートだけではなく、西側、東側からも筑波山の神社の方へ回ってこられると、そういう新しい、どれほど集客、或いは筑波山来た人に喜んでもらえるかわかりませんが、私個人的にはこの西側のルートは、非常に静かな環境で、登山ルートがたくさんあり、そちらにも来ていただける方は結構いると思います。つくし湖には千葉埼玉東京の車もたくさん停まっています。ですからTXで来たお客さんもそちらから回れるような新しいルートの開発みたいなものも、筑波山を主体に考えた場合には、そういう考え方もあるんじゃないかなというふうに思いました。	●市長 大変ありがたいです。大変ありがたいというのは、もう本当に渋滞で頭を悩ませていて、どうしたらいいかと神谷議員といつも相談してらるんですけども、なかなかこれという解決策がなくてですね、困っているし、併せて、車の渋滞もそうなんですけど、登山道の渋滞がひどいんですね。だから、もう山としてのキャパシティをもう超えてしまっていて、時期によっては、全然進まないような状況が起きてしまっているの、一方で私、つくし湖の方からどうやって上がるのかとか、あんまり考えたことがなかったの、決してつくば市じゃないから駄目だとかそんなことは私は思っていないですし、分散できるのであれば、周りの市とは非常に仲良くやっていますので、そういうルートを本当に一緒に。つくし湖が桜川ですよ、所属としては。そういう市長さんたちといろいろ相談とか、あとジオパークの関係で一緒にやったりしていますので、いろいろ考えていきたいと。 ●神谷市会議員 今、つくし湖方面の話、実はこれ地元でも登山する人もつくし湖の方から上がる人非常に多くてですね、確かにおっしゃられたように他県ナンバーがたくさんあります。で、今県を中心とした渋滞対策の協議会の方も、桜川市、そして石岡市、とともに入っておりますので、ただその渋滞対策のプラン道路の渋滞と、登山道の渋滞相互からになるんですけども、その観点を今既存の登山道だけではなくて、今市長からもありました通り、このジオパークの結びつきについては、両方からの非常に強い部分がありますので、また、当然桜川市も観光資源の一つとして欲しい、もちろん石岡市もそう考えておりますので、そういったところこれから協議の一つの新たな論点として、いろいろ展開できればうれしく思います。 ●市長 本当にありがとうございました。もう、何かもう何をやったらいいんだろうっていうぐらい、ちょっといろいろ試してもらっているんですけども。まあなかなか、いい策がないというか。悩んでいるところで。 ●鈴木県会議員 補足で、大変筑波山に関して、ご意見いただきましてありがとうございます。新たなルートも必要であると思っておりますし、既存のルートであり知られてない部分をより良い快適に整備することで、分散するってことも大切だと思っておりますが、今行っていることの一つとしては、特にここ2、3年、いわゆる観光の皆様から訪れていただく二つ石コースと、あとは御幸ヶ原

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
		コース、そしてまたその上の自然研究路というものもありまして、そのコースを今少し登山道としては老朽化をしていたり、柵が少し危険な状況になっているところがたくさんありまして、ここ2、3年で地方創生臨時交付金を使って、大規模な改修をしております。そこで、スムーズに安全に登れることによって当然、渋滞も多少緩和されるということをまず行って、ユースホテルからの道も含めると、そこもこれは管理用道路としても使っているの、ここも大規模に舗装工事を行ったっていうのもありまして、まずは、既存の安全対策を行って、そして合わせて、新たなルート魅力をさらに深めるということでやっていければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
11	①TXの延伸問題で、茨城県の方で4ルート延長これを進めていこうという、検討して進めていこうという話に、新聞等で伺っていますけれども、具体的に、土浦とか石岡市では、市長が先頭に立って協議会等を作って運動してる、これから運動を始めようかというような感じで新聞に載っているんですけども、つくば市について、全く私のところの耳に或いはメディアがそういう情報が入ってこないものですから、具体的にどんな動きをしているのかということをお聞かせ願いたいと思います。 ②それでは一步遅れてしまいますよね。今、現実には4ルートの一択に筑波山が入っておりますので、こちらの方の動きが遅ければ、どうしても先行してるところに取られてしまうと思うんですね。	①つくば市の今の考え方としては、その沿線の自治体と一緒に、東京駅の延伸を何としても早期に実現をさせたいということで、ずっと協議をして動いてきているプロセスがあるので、そちらがまず優先ということですね、お伝えをしないといけないと思います。その上で、まだ県からどういうレポートになるのかわからないので、何の話をしてるかという、一体どれぐらいの費用がかかるものなのかということが、まだわからないんですね。簡単に言うと、延伸をするときは、自治体が負担するという決まりになってますので、どこに延伸をするにしても、県が全額持ってくれるなら素晴らしいんですけど。その辺りがまだちょっと正直見えてなくてですね。どれぐらい費用対効果が見込めるかという調査を今県がしているので、その結果を見ないと、何とも、例えば、こちらまで延伸をするルートにしたら、わかりませんけれども、2,000億円とかですかね、もっとかもしれません、わかりませんが、そのお金は、今はつくば市にはないので、それが県負担とか、つていうのであればいいんですけど、一体どれぐらい乗るのかとか、まさにその基礎情報となる調査を県がやってくれていて、これ、今年度中に大体出るんですかね。ですので、それを待たないと、正直我々としてなかなか具体的に動き出すのが難しいなど。非常に歯切れが悪くて申し訳ないんですけども、やはり市政を預かる者としては、その情報をもう少し手に入れてからでないと、どういうことになるのか、他の自治体の皆さんとしても、いろいろ考えがあるんですけど、つくば市としては現在そういう状況で、県のその報告を待つという考えであります。 ②そうですね。ちょっと経緯のお話ししますと、私も4ルートが候補地に上がったときに、何で上がったんだと思ったら、これ私の就任前ですけども、市から筑波山方面への延伸の可能性あるのかみたいなことを、首都圏新都市鉄道とか、あといろんな人たちに簡単に調査をしたんですね。調査をしたら、可能性としてはないという結論が出たようなんですね。これは、どう頑張っても採算性があわないから、事業として作れないというようなことになったようで、そこでそれ自体はたち消えたようですが、今回の4ルートの候補を挙げる中で、県の方が、当時そういう状況を知っていたようで、そうは言ってもということで挙げてくださってるんですけども。今はそういう状況でして、確かにおっしゃるように、いろんな市長さんたちが自分のところとおっしゃる動きを私も見てはいますけれども、誘致したからつくば市で2,000億円負担してねとか言われちゃうと、おそらくそれは難しかったりするので、よく県議ともいろいろ相談をしながら、どういう方向性があるかということで、ちょっと遅れてしまうという点で言えばおっしゃる通り遅れてしまうと思いますが、今のつくば市としてはやっぱり、まず東京駅の方を伸ばして

タウンミーティング(2022.5.21 開催 場所:市民ホールつくばね) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
	③考え方としてはわかりましたけれども、一応真壁町、桜川あたりと連携していけば、より可能性は高いのかなと思っておりますので、ひとつ御検討よろしく願いしたいと思います。	いくことをほかの自治体ともずっと協議をしながら進めてきていますので、そこを実現するということが、先だろうというふうには、申し訳ないですが思っているところです。 ③ご意見として承りましたので、すいません。